つるさき

発行所
鶴崎神社
〒701-0304
早島町早島 2220
TEL 482-0097
FAX 697-6067
URL
http://turusaki2.web.fc2.com/

神妙な面持ちで獅子に頭を咬んで貰う子供

微笑ましい朝の光景

新しい年になり、一昨年から懸案であった神社下の町道拡幅工事が始まった。

この道路は丁度小学生の通学路となっている事から、早島町と施工業者に工事が完了するまでは、神社の境内を臨時の通学路にするように申し入れていた。

いよいよ二月から町道が通行止めになると、ランドセルを背負った可愛らしい小学生が正面の石段を登って賑やかにやって来た。

隋神門を潜り、参道を横切るときに一旦立ち止まり、社殿の正面に向かった一年生がゆっくりと二礼二拍手一礼の作法で神様にご挨拶をした。すると後から来た友達も同じように挨拶を行う。

何とも微笑ましい朝の光景であろうか。神社への参拝作法は両親又は祖父母等に教わったのかも知れないが、それを毎朝の通学時の一人の時にも進んで実践できる事は、決まりがあるとか、皆がするからとかの思考ではなく、自然に神様の前では頭を垂れる事が当たり前と考えている事に他ならない。

鎌倉幕府の基本法典であった御成敗式目（ごせいばいしきもく）に「神は人の敬（うやまい）によりて威（い）を増し、人は神の徳によりて運を添う」という言葉があるが、正にこの言葉は、このような自然体で純粋な気持ちを持つ今の世の小学生の清い心によって具現化したものであろう。

就中（なかんずく）、この子らが神の徳によって、何時々までも健康で日本を背負う人材になって貰いたいと願うばかりである。

春季大祭に併せ巫女体験実施

令和２年、３年に実施を予定致しておりました巫女体験は新型コロナウイルス感染症拡大により、中止となりましたが、本年５月から感染法上の位置づけが変更になる事に加え感染者の大幅な減少となっているため、当社の春季大祭に併せて第４回巫女体験（岡山県神社庁教化委員会主催）を実施致します。

県内から集まった20名の女性が巫女の衣装を着けて、供膳祭の奉仕や祭祀舞（さいしまい）を奉納致します。

写真撮影も出来ますので、春季大祭（供膳祭）共々御参拝並びに見学にお越し下さい。

☆日　時

５月21日（日）

午前10時～供膳祭奉仕

午後　３時～祭祀舞奉納

三年ぶりの神幸祭

令和二年、三年と新型コロナウイルス感染症拡大により、中止を余儀なくされていた神幸祭でしたが、氏子の皆様のご協力により、令和四年に早島、帯江、豊洲の秋の風物詩が帰って来ました。当日は雨天の予報が晴天に変わり、感染予防を実施しながら予定通りの巡行となりました。

神道Q&A

〈神酒口とは〉

【質問】

我が家では神棚に御供えする御神酒入れの口に竹で作った飾りを刺し入れる習わしとなっていますが、これはどんな名前で、何をするための物でしょうか？

【答え】

家に神様をお迎えするためには、神棚、床の間などの神様の鎮座する神座が必要です。

神座には、鏡餅やお神酒などの神饌（お供物）をお供えします。お神酒を入れた瓶子やお神酒徳利（お神酒すず）などの口を飾る縁起物が、神酒口（ミキノクチ）です。ミキノクチには、紙製、竹製その他いろいろな種類がありますが、常緑樹（杉、桧、松等）の小枝をミキノクチとしてお神酒徳利などの口に挿すことは、全国的に行われて来ました。

ミキノクチには、御幣や門松のように、舞い降りた神様を宿らせるための、依代としての役割もあります。

祭りなどでは、その後、お神酒は下げて、皆でいただきます。

ミキノクチは今でも神具店などで販売されていますが、経木の簡単な火焔（炎の形）や、木の板やブリキに模様を付けたもの、折紙の様に紙で作ったものなど様々な物があります。

瓶子の口に挿したミキノクチ

また、高価な工芸品として作られるものもあります。さらに、昔の民具を保存する活動の一環として、竹のミキノクチを作る人もいますが、ミキノクチが作られるようになったのは、大工などの職人の手仕事として、伝承されて来たものが始まりとされています。

昔は、大工と施主が、何代にもわたって付き合いました。家を少し直すにしても、同じ大工に頼みました。そうした付き合いに感謝して、大工が施主に対し、年末に、ミキノクチを贈るようになりました。

大工仕事に使う檜の余りの板に、ノコ目を入れ、水に浸して柔らかくしてから、薄く削り、乾かない内に組み上げます。十一月、十二月の夜なべ仕事に作るので、若い大工にとっては、冷たい水を使うつらい余技だったようですが、この作業を行う事により、ノコギリやカンナの練習にもなりました。

ミキノクチの形状は、火焔、扇、宝剣、桃など縁起物を象ったものが多く、「おみきすず」などとも呼ばれましたが、よく作られたのは、戦後暫くまでのようです。

イ草のジャンボ干支 境内に展示

正月の風物詩として毎年恒例となっているイ草のジャンボ干支を年末から二月五日まで境内に展示した。

昨年の「とら」は横方向に長かったので、今年は縦方向にと、両足で立った姿勢の「うさぎ」を表現した。

公開時の取材中、強風により倒れそうになるハプニングもあったが、補強を施し無事正月の参拝者を迎える事ができた。

正月の参拝者を迎えたイ草の「うさぎ」

町道の拡幅工事

境内下の町道の拡幅工事が始まりました。五月末日には完成予定です。今年からは神輿の渡御も安全に行う事ができます。

授与品② 神木守り

当社の御神木は、樹齢数百年と推定される巨樹のアクラです。アクラはクロガネモチの別称で、岡山地方では通称アクラと呼ばれています。

アクラは上座（アゲクラ）の意味で、この木は品格が高いと評価されており、また「あっと言う間に藏が建つ」といわれ大変縁起の良い木でもあります。

このアクラをデザインした神木守りを作製し、授与しております。（初穂料一、〇〇〇円）

まいられぇ岡山　神社仏閣を巡る

岡山の由緒ある社寺を巡拝して、歴史を学び、岡山の信仰を再認識するべく、29の神社と36の寺院が参加して「まいられぇ岡山」が本年も開始されています。

ガイドブックには、各社寺の縁起や見どころなど、幅広く紹介されています。

フォトコンテスト（8月18日〆切）
スタンプラリー（9月30日〆切）
巡礼クイズ（9月30日〆切）

応募用紙を兼ねたガイドブックは拝殿内に置いてありますので、ご自由にお持ち帰り下さい。

総代の異動（令和五年四月一日付）

帯高南古開		早高南		塩地花町		片　田	
新任	退任	新任	退任	新任	退任	新任	退任
中村　悟 倉敷市帯高二六〇	中村　之信 倉敷市帯高二六二	大村　秀樹 倉敷市早高二四	小原　惠 倉敷市早高三四一ー一	納所　實 早島町早島一三五六	西田　覃 早島町早島一一六三	同前　忠志 早島町早島一九九二	岡本　冨士夫 早島町前潟一〇五九ー一九

特殊な細密織りで謹製された神木守り４種

祭事暦

五月二十日（土）［午後七時］
八幡神社春季大祭
（露店あり）
五月二十一日（日）［午前十時］
鶴崎神社春季大祭【供膳祭】
巫女体験［午前九時～午後五時］
七月三十日（日）［午後五時］
夏越祭【輪くぐり祭】
（露店あり）
毎月一日（午前九時）月次祭

諸祈祷・出張祭の案内

◆初宮詣・交通安全・厄除・安産・家内安全・病気平癒・その他
◆地鎮祭・上棟祭・家移清祓・宅神祭・結婚式・神葬祭等
ご希望の方は前もってご連絡下さい。

祈祷／出張祭は
予約
をお願いします。
482-0097